

くすの木

2023年 3月

95号

兵庫県ビブリオバトル 高校生大会を開催しました！

令和5年1月29日に、2年ぶりとなる兵庫県ビブリオバトル高校生大会を開催しました。今回は、複合型交流拠点ウイズあかし 子午線ホールを会場に総勢28名の高校生に出場していただきました。

令和4年度兵庫県ビブリオバトル高校生大会
主催：兵庫県教育委員会 兵庫県立図書館
後援：明石市 明石市教育委員会 神戸新聞社



ビブリオバトル公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

ビブリオバトル普及委員会事務局「知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト」
<<https://www.bibliobattle.jp/>> (参照：2023-2-22)

今回のチャンプ本は『ロリータ』（県立鳴尾高等学校 中藤立惺（なかとう りゅうせい）さん）でした！

チャンプ本以外の発表者もレベルが高く、どの本も「読んでみたい!」と思える、とても素晴らしいバトルでした。熱い戦いを繰り広げていただいたバトラーのみなさま、盛り上げてくださった会場のみなさま、ご参加いただきありがとうございました。

入賞した作品は、2階大閲覧室にて展示します。ぜひ一度お読み下さい！



ビブリオバトル入賞作品

令和4年度兵庫県ビブリオバトル高校生大会で入賞した6冊と、当日のバトルの発表を一部抜粋して紹介します。また、当館のYouTubeチャンネルにて入賞した各バトルの発表を動画配信しています。こちらも合わせてご覧ください。

兵庫県立図書館YouTubeチャンネルはこちらから →



チャンプ本

『ロリータ』

当館請求記号：933.7/237
著者：ウラジーミル・ナボコフ
後藤 篤 訳
出版者：新潮社
出版年：2019.10



発表者：県立鳴尾高等学校 中藤 立惺さん

あらすじを確認する上でおさえておきたいポイントは1つ。主人公ハンバートは小児性愛者、いわゆるロリコンです。この本を一言で表すと「謎」です。伏線の謎、比喩の謎、文章の謎、作者の謎… この本は、ミステリー小説であり、ロリータとハンバートのロマンス小説であり、全米を舞台としたロードモデルでもあります。万華鏡のように、見る角度によって話が全く違ってきます。ぜひ皆さん、偏見を持ったまま、この本を読んでみてください。

準チャンプ本

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

当館請求記号：913.6/シオ
著者：汐見夏衛
出版者：スターツ出版
出版年：2022.8



発表者：白陵高等学校 野村 多真希さん

みなさんは、自分に正直に生きていますか？この本は、マスク依存症で、自分の本心を外に出すことが苦手な高校生・茜と自由奔放で言いたい放題な人気者・青磁が織りなす恋愛小説。二人を追いながら、自分に正直に生きるとはどういうことが教えてくれます。きっと自分の人生に必要な言葉を見つけることができるはず。また、タイトルには青磁に関するある大きな秘密が隠されています。この秘密を知ったとき、あなたは涙せずにはいられません。

敢闘賞（発表順）

『悪の教典』

当館請求記号：913.6/5486/2
著者：貴志祐介
出版者：文藝春秋
出版年：2010.7



発表者：愛徳学園高等学校 牛島 寿梨さん

主人公は蓮実という、生徒から大人気の教師。しかし、裏の顔は凶悪なサイコパス。生徒たちが文化祭の準備で学校に泊まる、というシーンで蓮実はある生徒に自分が大量殺人を犯している事実を知られてしまいます。蓮実は証拠隠滅のために、生徒を全員殺すことにするも、失敗に終わり警察に捕まることになる。完全犯罪をできなかった蓮実は完全勝利のために、最後のゲームを始め— 悪の教典の作る非日常的な蓮実ワールドを楽しんでください。

『豆の上で眠る』

当館請求記号：913.6/K373
著者：湊かなえ
出版者：新潮社
出版年：2014.3



発表者：県立須磨友が丘高等学校 向井 楓さん

小学3年生の万佑子と1年生の結衣子の姉妹。ある日突然、お姉ちゃんの万佑子が失踪してしまいました。2年後、万佑子は突然発見され、家に帰ってくる。家族は大喜びで迎え入れるが、妹の結衣子だけが誰にも言えないある違和感を抱えます。

「この人はお姉ちゃんではない。こんな人、私は知らない」
緊迫のラスト、万佑子ちゃん失踪事件の真相が明かされたとき、足下から崩れ落ちていくような気持ちを抱かされます。

『博士の愛した数式』

当館請求記号：913.6/4296
著者：小川洋子
出版者：新潮社
出版年：2003.8



発表者：県立洲本高等学校 西村 比呂さん

ある数学博士と家政婦と家政婦の息子の三人による愛の物語。ただし一点、大きなゆがみが存在します。それは博士の記憶が80分しかもたない、ということです。つまり、博士とは80分ごとに初めましての状態に逆戻りしてしまいます。博士は、コミュニケーションや愛情表現の為の手段として数学を使います。これがとにかく面白く、ロマンチックな数式の豆知識がたくさん出てきます。皆さんもこの本を読んで、新しい愛の形を体験してみてください。

『嫌われる勇氣』

自己啓発の源流
「アドラー」の教え

当館請求記号：146.1/111
著者：岸見一郎、古賀史健
出版者：ダイヤモンド社
出版年：2013.12



発表者：県立神戸高等学校 葉山 仁さん

もし、いきなりどんな人間も例外なく、今この瞬間から幸せになれると言われたら、皆さんはどんな感想を抱きますか？この本を読めば、納得させられます。この本は一言で言うと哲学書です。1900年代頃に活躍したアドラーという心理学者のモノの考え方、いわゆるアドラー哲学を対話形式で学べます。これを学べば、何か悩み事に遭遇したとき、解決するための引き出しがひとつ増えます。読んだ後に必ず世界が変わると思います。

講座・イベント一覧
4月 - 7月 参加無料!

連続歴史講座〈大正時代〉

- 第1回 6月8日(木)
シラバス、歴史学習の方法、第一次世界大戦と日本
- 第2回 6月22日(木)
普選運動の高揚
- 第3回 7月13日(木)
協調外交と第二次護憲運動①
- 第4回 7月27日(木)
協調外交と第二次護憲運動②
- 第5回 8月10日(木)
大正期の文化
- 各回 10:30~12:00 (予定)
 - 対象: どなたでも

宮沢賢治の世界
~詩と童話を中心に~

7月7日(金) 1階 第2研修室
13:30~15:00 (予定)

- 宮沢賢治を研究されている先生を講師にお招きし、詩と童話を中心に解説していただきます。
- 対象: どなたでも

講座・イベントおよび展示の詳細や参加の申込み方法については当館ホームページに順次公開します。お楽しみに!



兵庫県立図書館HP



Facebook



Twitter

休館のお知らせ

5/31(水) ~ 6/6(火)の間、蔵書点検のため休館させていただきます。

本を返却される際は1階入口横の返却ポストをご利用ください。

展 示

女性雑誌で迎える
昭和ファッション史

大閲覧室 ~ 6/14

昭和時代を彩った女性ファッションの歴史について、当館所蔵資料や当時の女性雑誌、道具などで振り返ります。当時の時代背景や女性の生き方が多様化していく様子を感じ取っていただければと思います。



昭和を駆け抜けた写真家たち

大閲覧室 ~ 6/14

明石市立文化博物館の春季特別展『写真家が捉えた 昭和のこども』の開催に併せ、展示します。昭和を代表する写真家たちの写真集や当時の玩具、道具などで昭和の時代を振り返ります。



司書が選ぶ! 書庫のオススメ本

大閲覧室 ~ 6/4

名著と言われる作品でも、古いものや貸出数の少ないものは書庫で管理しています。そんな書庫に眠っているオススメの名著たちを、独断と偏見で選び、展示します。



ひょうごの郷土料理

ふるさとひょうご情報室 ~ 6/14

北は日本海に面し、南は瀬戸内海を介して太平洋へと続く幅広い県域を持つ兵庫県には、様々な郷土料理が存在します。各地の多様な郷土料理や地元食材を使ったレシピを、当館資料でご紹介します。



Coming Soon!

- 大閲覧室 6/16 ~ 10/18 ひょうごを旅する
~五感で感じる食・文化・伝統~
- 6/16 ~ 9/20 明石市立文化博物館×兵庫県立図書館
画家・絵本作家 安野光雅
トライやる・ウィーク生による展示
- ふるさとひょうご情報室 6/6 ~ 8/8
- 6/16 ~ 9/20 ひょうごの植物
- 6/16 ~ 8/16 ひょうご温泉物語

県立図書館からのおススメ

職員おススメ本①

『介護に役立つ色彩活用術』

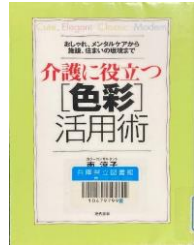
おしゃれ、メンタルケアから施設、住まいの環境まで』

当館請求記号：369.2/1318

著者：南 涼子

出版者：現代書林

出版年：2003.11



色はメンタル面に大きく作用します。緑や青はヒーリング効果が高く、赤やオレンジは気持ちを前向きにさせてくれます。ピンクは、生命力を高め、身につけると肌色を若々しく見せる効果があります。青系統の部屋を赤系統にしたところ、うつ状態の改善がみられたり、工場の色彩を変えることで作業効率が高まり事故も減少した事例もあります。

「色彩」の持つ性質と効果を理解し、取り入れることで介護環境やメンタルケアに役立つ介護が少しでもしやすい環境になればと思います。一度手に取ってご覧ください。

職員おススメ本③

『にんげんだもの』

当館請求記号：728.8/181

著者：相田 みつを

出版者：文化出版局

出版年：1984.4



今回私がおすすめする本は、日本の詩人・書家である相田みつをの詩集です。一部分がタイトルにもなっている「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」は有名で、多くの方が知っているのではないのでしょうか。

落ち込んでいる時に開くと気持ちが軽くなったり、悩んでいる時に開くと、新しい視点が生まれる…そんな言葉たちが掲載されています。

ぜひ、手に取ってページを開いてみてください。心に残る言葉が、見つかるかもしれません。

職員おススメ本②

『歲月』

当館請求記号：780/132

著者：茨木 のり子

出版者：花神社

出版年：2007.2



詩人・茨木のり子が夫に先立たれてから31年に渡って書き留めた39篇の詩を綴った詩集です。

生前に出版されなかったのは、一種のラブレターのようなものなので、ちょっと照れくさいのだという答えだったそう。それもそのはず、他の作品とは異なり、女としての詩人の赤裸々なことばが散りばめられています。美しく、生々しく、寂寞感に満ちており、夫に対する愛の深さに胸を打たれます。

現在、書店などでは手に入りにくい一冊となっています。是非一度手に取って読んでみてください。

職員おススメ本④

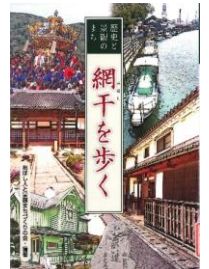
『網干を歩く 歴史と景観のまち』

当館請求記号：291.644/K76

著者：あぼし人と景観まちづくりの会

出版者：神戸新聞総合出版センター

出版年：2014.5



姫路市網干地区は姫路市の西南端に位置します。この本では網干を、写真を取り入れながら簡潔に紹介しています。

温暖な気候、古い歴史、寺院の数々…。何気ないまち並みにも、見どころは多いことがわかります。

あとがきには、「見聞し、感じるためには、実際に歩くのが一番であろう。この本はそれを実践しながら綴ってきた。」とあり、なるほど、まちの空気が感じられます。

まち歩きのお供にぴったりの一冊です。



【開館時間】 9：30～18：00

【休館日】 毎週月曜日・毎月第3木曜日・年末年始（12月29日～1月3日）
特別整理期間（6月頃 1週間程度）

【アクセス】○JR明石駅、山陽明石駅で下車、北へ800メートル（明石公園内）
○当館に専用駐車場はありません。お車でお越しの際は、公園内または近隣にある有料駐車場をご利用ください。

【ホームページ】 <https://www.library.pref.hyogo.lg.jp>

兵庫県立図書館 TEL 078-918-3366 / FAX 078-913-9229

TEL 078-918-3377（調査相談）